



■ ネットワークセントリックなサービス・データ疎結合連携基盤



センサーなどのデータとクラウド・サービスの疎結合をネットワークで行います。Future internet と future computing を体験してください。

■ 担当教員: 林 隆史

概要

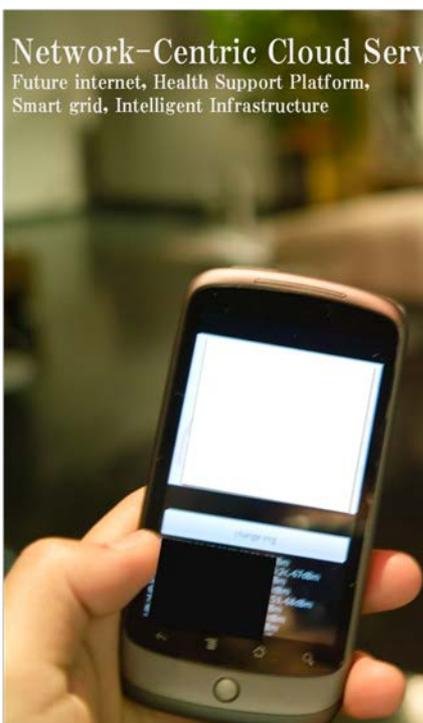
本年度のベンチャー工房では、IEEE1888, XML gateway (apigeer), XML router (solace) 他を用いて smart grid, 健康情報基盤, 知識社会情報基盤のための intelligent infrastructure 構築に挑戦します。その挑戦を通して、network-centric approach, future internet, content-aware networking, XML-based networking and control, 疎結合, クラウド基盤などを考えていきます。

実例

様々なセンサや web サービス, データなどを有機的に自由自在に結びつけるための情報基盤の研究・開発を行います。

- ・環境センサと医療センサの連携
- ・モニタリングデータの連携
- ・OECD 個人情報原則を踏まえたライフコースデータ・データストアと統計サービス, 医療情報の連携
- ・ほしい情報を既存のセンサやセンサネットからどのように収集するのか
- ・complex event processing によるリアルタイムセンサデータ処理や証券データ処理
- ・100 年データストアとその関連システムの実現に向けて
- ・デジタルアーカイブとデジタルミュージアムの連携

Network-Centric Cloud Service 収集
Future internet, Health Support Platform,
Smart grid, Intelligent Infrastructure

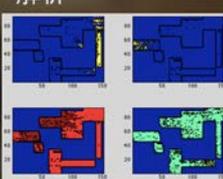


情報収集基盤の構築



環境情報を収集するためのセンサ開発をおこないます。また、開発したセンサから届データを保存する仕組みを構築します。

解析



大量の情報を解析
大量に得られた情報から,何が導きだせるのかを解析します。

構築



情報提供の検討
情報の公開は,セキュリティを考慮する必要があり,どこまで公開してもよいのか検討する必要があります。また,どのように提示すべきなのかを検討します。